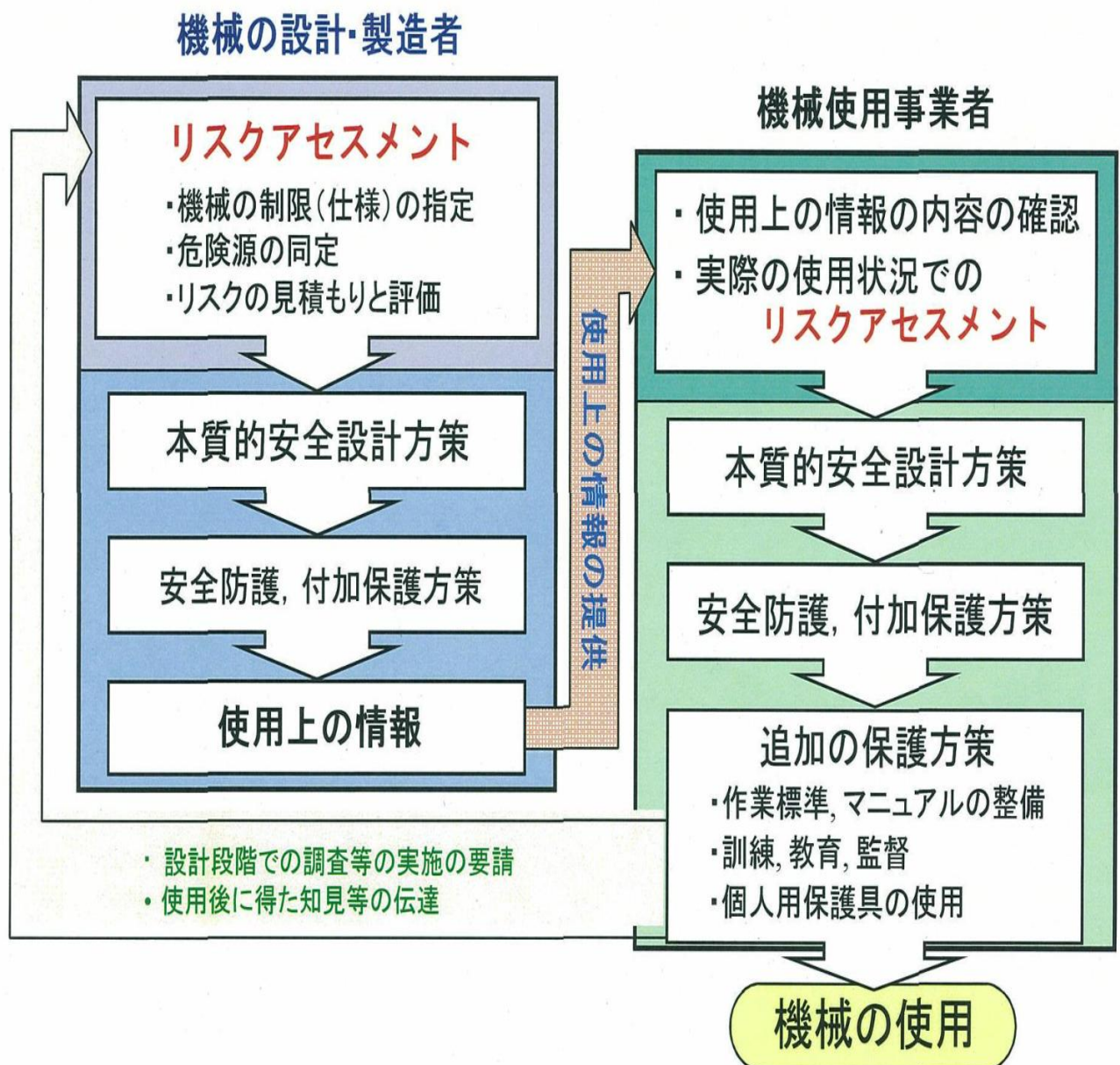


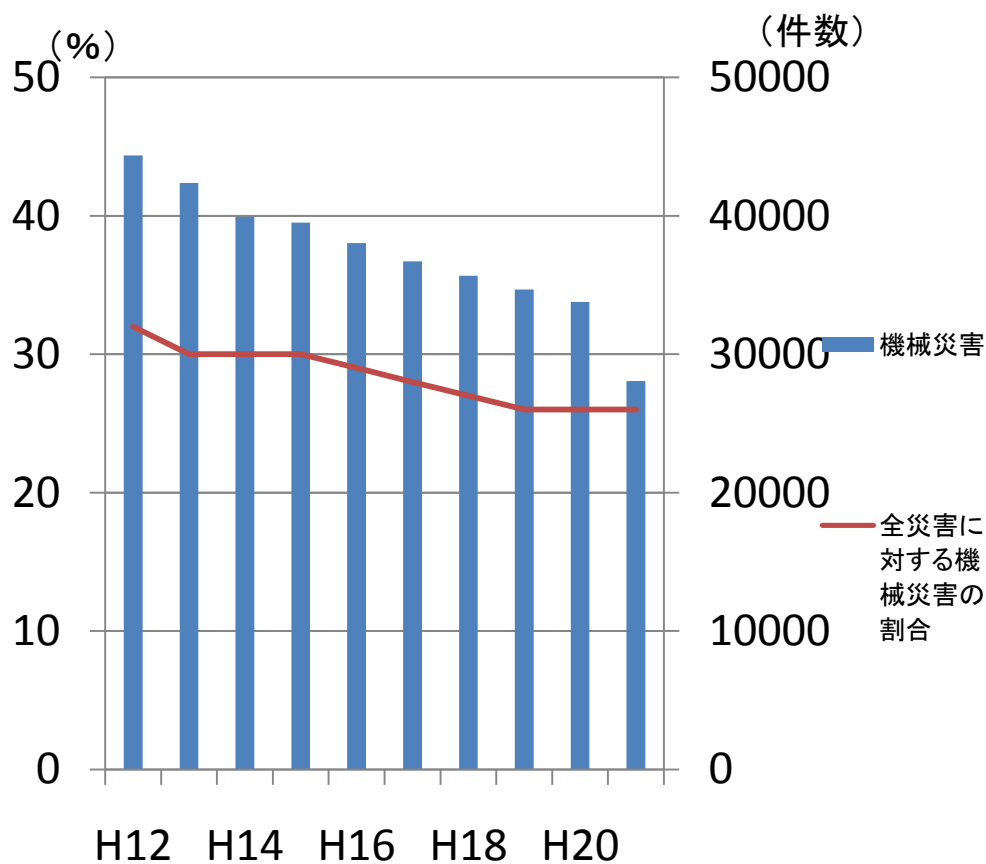
機械の包括的な安全基準に関する指針

(平成19年7月31日基発第0731001号)

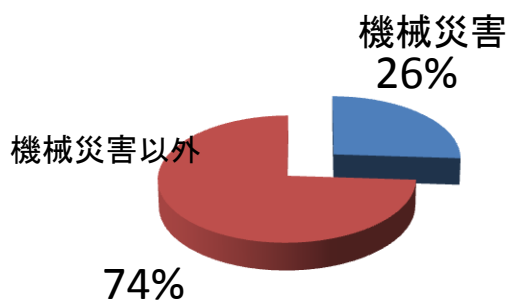
国際規格(ISO)にも整合したリスクアセスメント指針の「機械版」。機械の設計段階でリスクアセスメントを行い、本質的な安全方策の実施を促すとともに、残留リスクについては「使用上の情報」としてユーザーに情報提供を行うことにより、ユーザー事業場のリスクアセスメントの促進、ひいては機械災害防止を図るものである。



機械による労働災害発生状況



機械災害の推移
(休業4日以上)

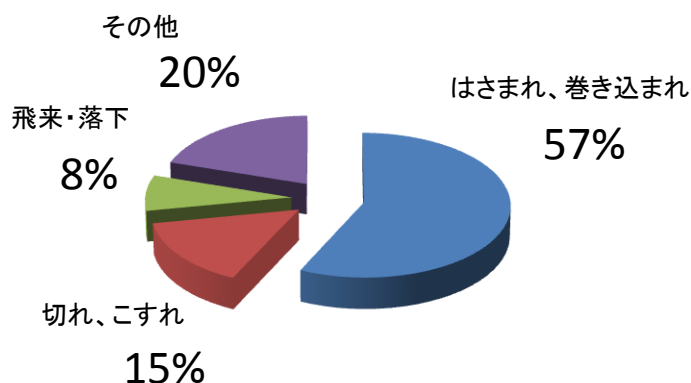


平成21年労働災害発生状況

資料出所: 労働者死傷病報告

機械災害の要因分析(製造業)

1 機械災害の事故の型別 死傷者数

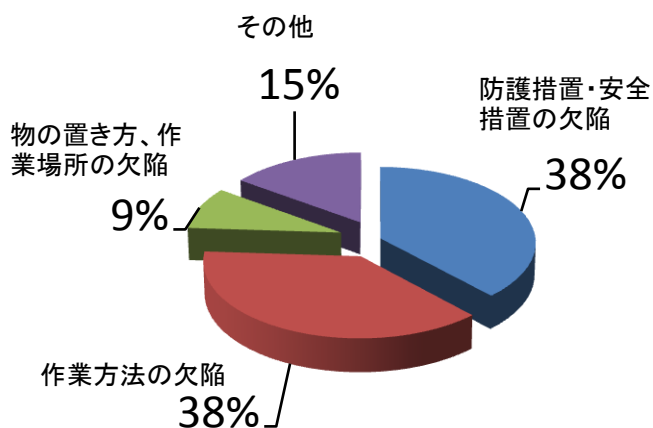


本調査は、平成19年に製造業の事業場において発生した休業4日以上之死傷災害について抽出調査したもの。

(厚生労働省調べ)

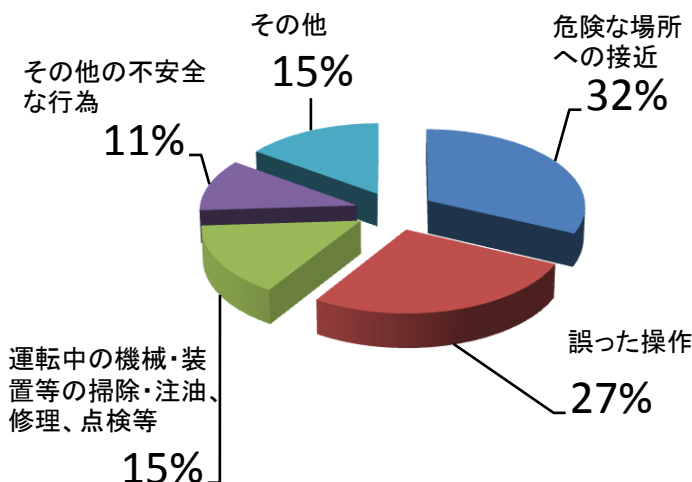
※製造業における機械災害の死傷者数 15,717人

2 「不安全な状態」別 死傷者数



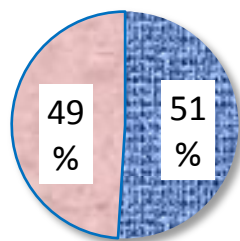
「作業方法の欠陥」には、『作業手順の誤り』などがある。

3 「不安全な行動」別 死傷者数



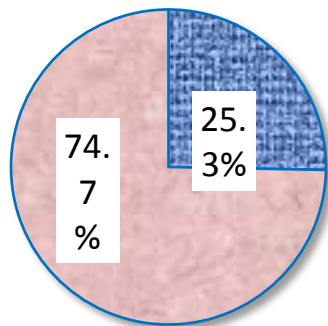
「危険場所への接近」には『動いている機械等への接近・接触』など、「誤った動作」には『物の支え方の誤り』など、「その他の不安全な行為」には『確認しないで次の動作をする』などがある。

リスクアセスメントの普及状況



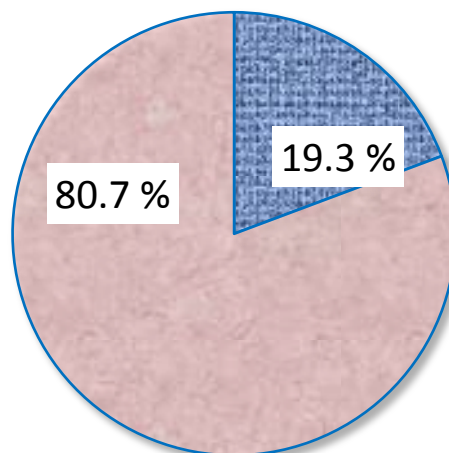
労働者数300人以上
の事業場

全労働者数に占める
割合 13.7%



労働者数50人以上
300人未満の事業場

全労働者数に占める
割合 25.7%

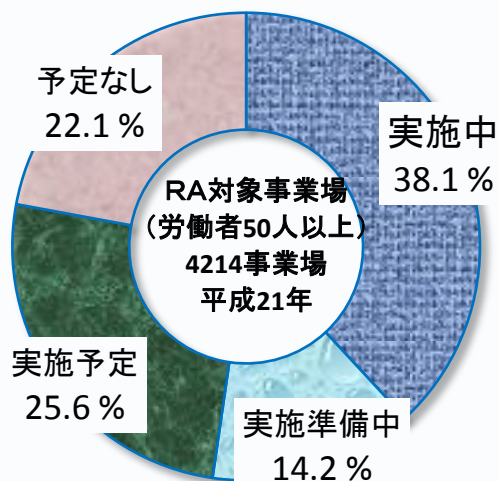


労働者数10人以上
50人未満の事業場

全労働者数に占める
割合 47.7%

■ リスクアセス
メントを実施
している

□ リスクアセス
メントを実施
していない

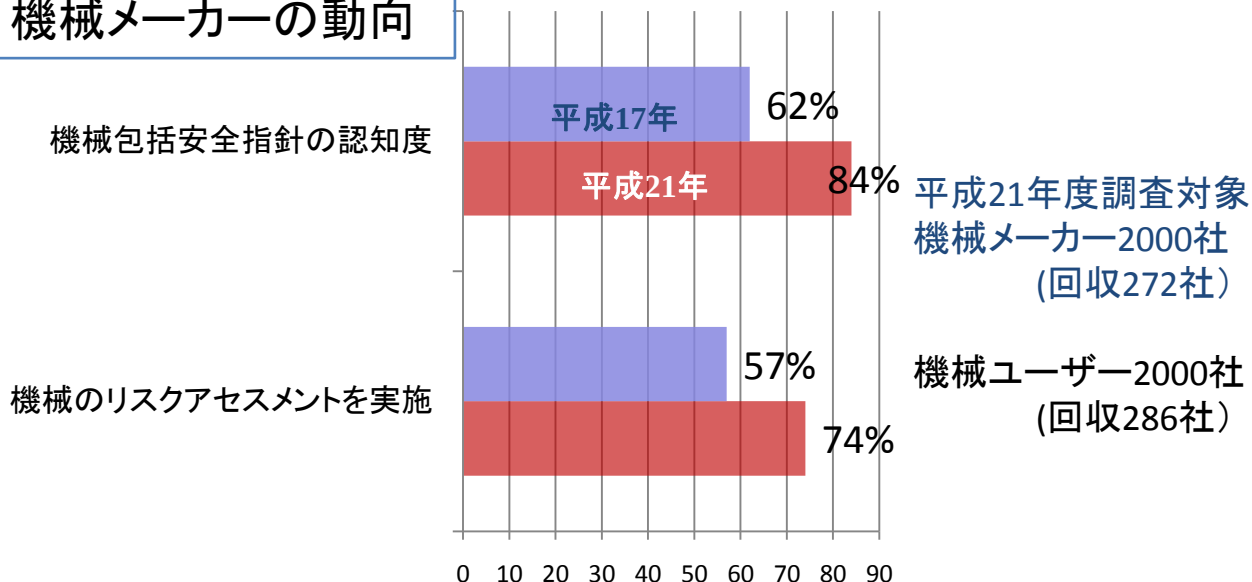


資料出所
上表:平成17年厚生労働
省労働安全衛生基本調査
結果(8,543事業場より有
効回答)及び平成18年総
務省事業所・企業統計調
査より作成

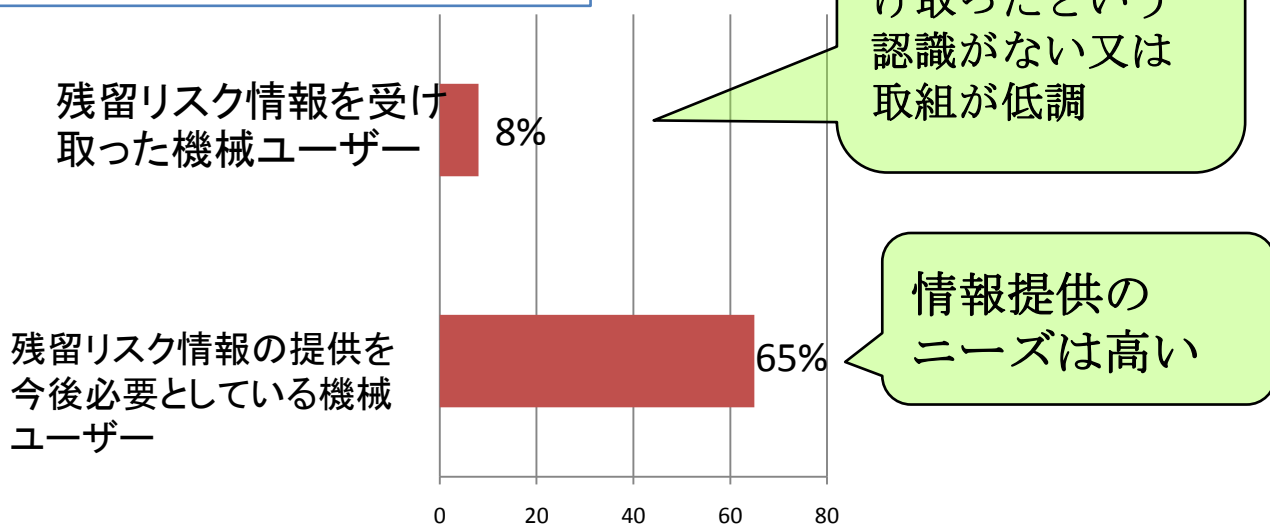
下表:平成21年厚生労働
省調べ

機械メーカー・ユーザーの現状と今後の要望

機械メーカーの動向



機械ユーザーにおける現状と今後の要望

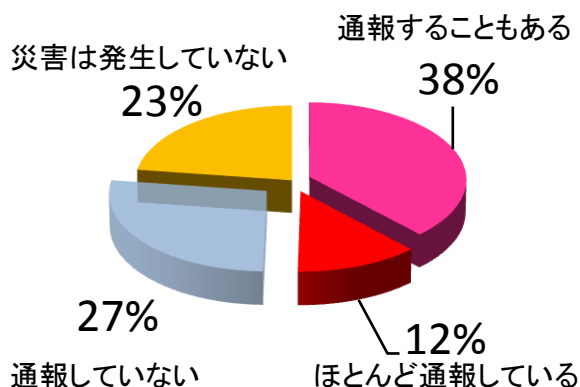


なお、RAを実施していないユーザーにおいても、6割強が残留リスク情報を要望していることが明らかになっている。

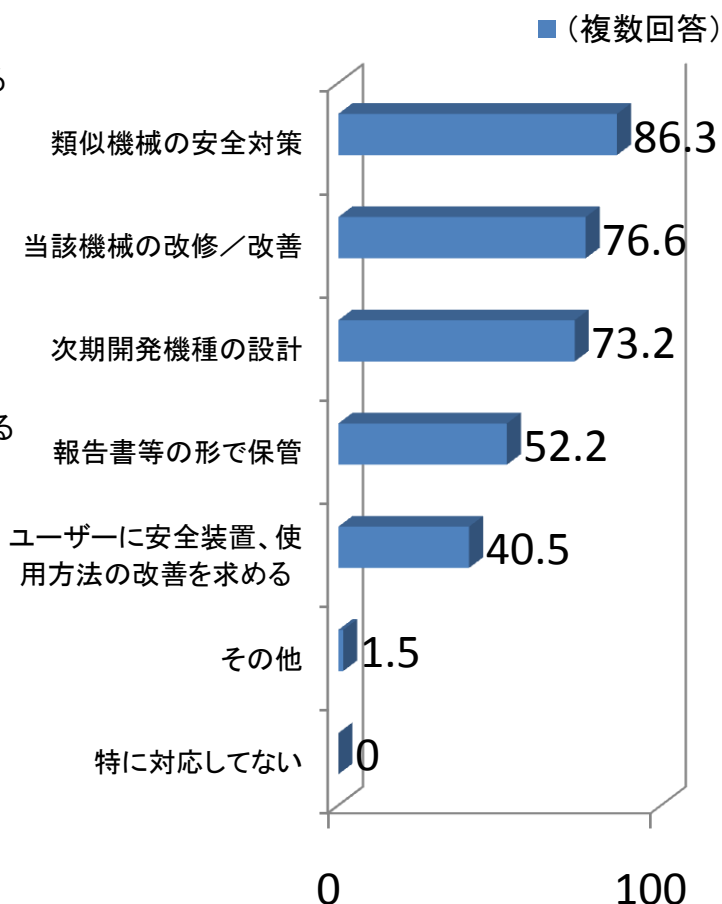
機械災害発生時の情報提供の状況

(機械ユーザーで発生した機械災害情報を機械メーカーに通知しているか。)

通知の状況



機械災害情報を入手した機械メーカーの情報活用状況



資料出所:「機械包括安全指針に基づく機械設備に係る表示制度及び「使用上の情報」の提供を促進するための制度の検討に関する報告書」(平成21年度中央労働災害防止協会)